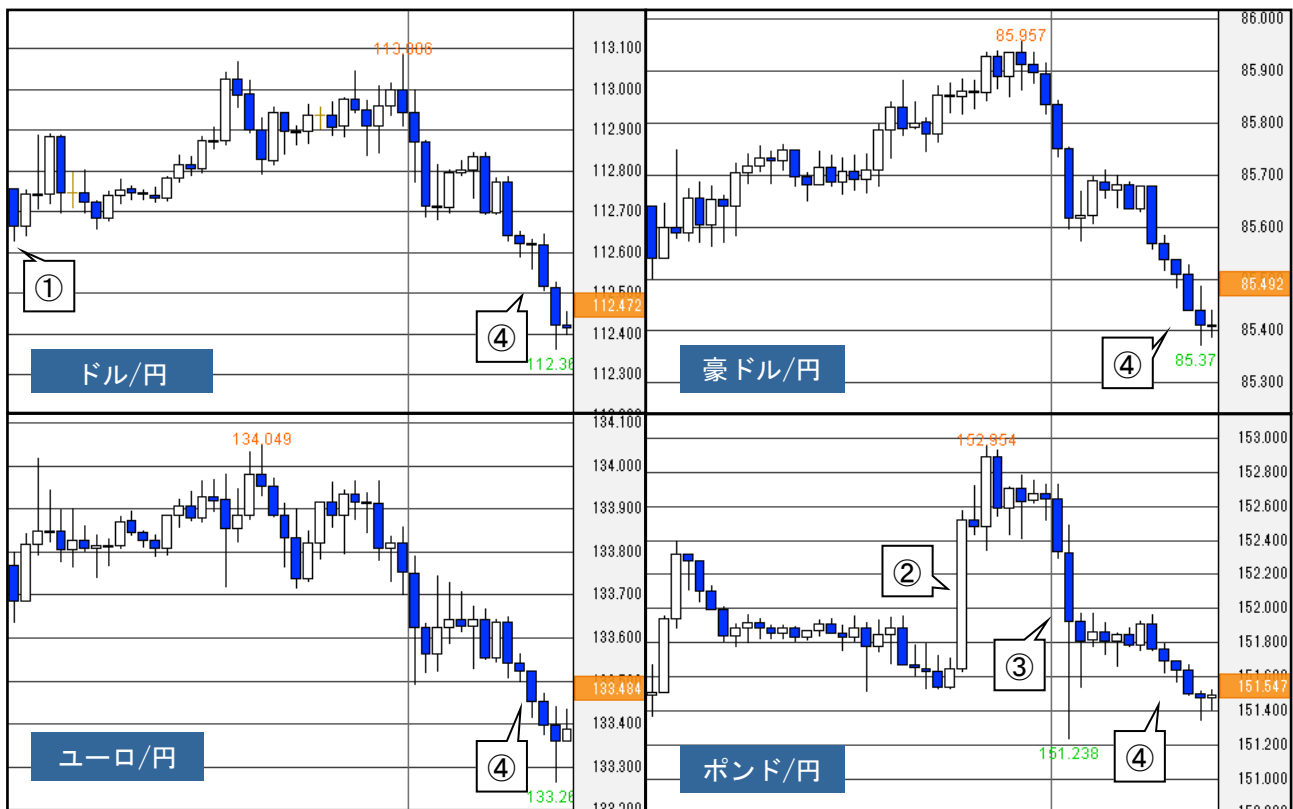


12月5日(火曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、一目雲の中でもみ合う

4日(月)の為替相場

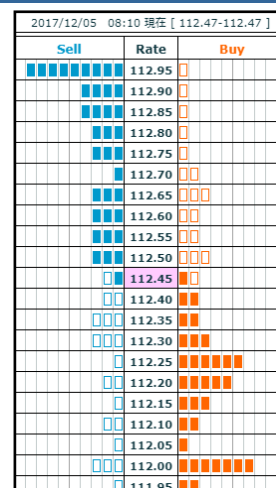


期間：4日(月)午前7時00分～5日(火)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 前週末2日に米上院が税制改革法案を可決した事を受けて年内成立への期待が高まり、オープン直後からドル買いが優勢となった。
- ② 英国の欧州連合(EU)離脱(Brexit)に向けて、メイ英首相、ユンケル欧州委員会委員長とアイルランド国境問題などについて会談するバルニエEU首席交渉官が「きょうにも合意に至る可能性がある」などと前向きな発言をした事が伝わるとポンドが上昇した。
- ③ 英メディアが「Brexit交渉について本日の合意はない模様」と報じるとポンドが急落。その後、メイ英首相とユンケル欧州委員会委員長は、離脱交渉が次のステップに進めるほど進展しなかった事を明らかにした。その上で、ユンケル氏は記者団に、合意先送りについて「失敗でない」と述べ、未決着問題は2-3項目であり、双方の溝がかなり埋まったと説明。EUに週内の交渉再開用意があり、首脳会議前の十分な進展を引き続き確信しているとも述べた。
- ④ 米税制改革への期待から一時史上最高値を更新していたNYダウ平均が引けにかけて上げ幅を縮小したほか、高寄り後に反落していたナスダック指数は下げ幅を拡大。米長期金利もNY市場序盤の上昇をほぼ吐き出した。こうした中、ドル/円やクロス円は弱含んだ。なお、一部米メディアは「ロシアゲート問題で米調査当局が下院議員2名を捜査へ」と報じた。

4日(月)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22707.16 ▼111.87	5985.587 ▼4.169	3309.618 ▼7.999	7338.97 △38.48	13058.55 △197.06
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24290.05 △58.46	0.0410% △0.0060	2.544% △0.010	1.287% △0.054	0.344% △0.038
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.8063% △0.0342	2.3723% △0.0107	57.47 ▼0.89	1277.70 ▼4.60	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	111.900-113.100	132.900-134.200	84.800-86.200	150.300-152.100

【ドル/円】

昨日のドル/円は、先月17日以来の113.00円台に上伸する場面もあったが、終盤にかけて112.30円台まで失速した。米税制改革への期待とトランプ政権のロシア疑惑に対する不安が交錯する中でドル買いは持続力を欠いた。NYタイムには、ロシアゲート問題で米調査当局が下院議員2名を捜査すると報じられた。

チャート的にも、日足一目均衡表の雲の中での推移が続いており、方向感が出にくい環境にある。一目の雲上限(執筆時113.172円)付近は強い上値抵抗として意識されそう。一方、同じ一目均衡表の転換線(執筆時111.965円)は下値支持となろう。本日のドル/円は112円台でもみ合う展開が見込まれる。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
12/5(火)	09:30	◎	(豪) 10月小売売上高(前月比)	±0.0%	+0.3%
	09:30		(豪) 7-9月期経常収支	-96億AUD	-87億AUD
	10:45		(中国) 11月財新/サービス業PMI	51.2	—
	12:30	◎	(豪) RBAキャシュターゲット	+1.50%	+1.50%
	18:30	○	(英) 11月サービス業PMI	55.6	55.0
	19:00		(ユーロ圏) 10月小売売上高(前月比)	+0.7%	-0.7%
	22:30	○	(米) 10月貿易収支	-435.0億USD	-475.0億USD
	24:00	◎	(米) 11月ISM非製造業景況指数	60.1	59.0

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。